

山口県感染症発生週報 (第34週:平成25年8月19日～8月25日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 第33週追加 2例(下関1、柳井1)。第34週 5例(下関2、岩国1、周南1、山口1)。

【3類感染症】

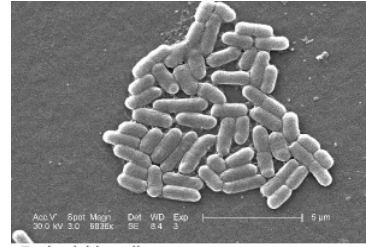
・腸管出血性大腸菌感染症: 6例(下関2 O157 VT1VT2、宇部4 O157 VT1VT2)。宇部健康福祉センター管内の保育所で腸管出血性大腸菌感染症の集団発生があり、現在、感染状況の調査とまん延防止の措置を行っているところです。第33週の4例と今週の宇部の4例は、当該保育所の園児とその接触者です。

【4類感染症】

・レジオネラ症: 1例(宇部)。

【5類感染症】

・梅毒: 1例(岩国)。



Escherichia coli 0157:H7
CDC/ National Escherichia, Shigella, Vibrio Reference Unit at CDC

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・RSウイルス感染症: 長門、萩でかなり多い状態となっており、下関でも増加しています。毎年秋から冬に流行する呼吸器疾患ですが、乳幼児では時に重症化することがあり、注意が必要です。

・手足口病: 報告数は減少しましたが、長門ではかなり多い状態が続いています。その他にも警報レベルが続いている地域があり、引き続き注意が必要です。[警報レベル:長門(9週目)、防府(11週目)、周南(9週目)、山口(10週目)]※

・ヘルパンギーナ:

萩で警報レベルが続いています。山口でもやや増加しています。[警報レベル:萩(5週目)]※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	32週	33週	34週	疾患名	32週	33週	34週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	55	51	72	ヘルパンギーナ	122	47	49
咽頭結膜熱	28	7	24	流行性耳下腺炎	3	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	78	33	59	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	203	128	181	流行性角結膜炎	4	1	0
水痘	35	19	28	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	239	133	82	細菌性髄膜炎	0	1	1
伝染性紅斑	3	2	0	マイコプラズマ肺炎	2	3	0
突発性発しん	36	33	41	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	26	1	0	12	2	1	12	10	8	72
咽頭結膜熱	10	2	2	4	1	5	0	0	0	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0	2	6	1	36	3	4	1	59
感染性胃腸炎	29	17	1	48	12	29	28	0	17	181
水痘	7	3	1	2	1	9	4	0	1	28
手足口病	9	6	6	19	9	11	8	13	1	82
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	8	2	4	6	0	9	7	3	2	41
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	7	1	0	13	1	12	9	0	6	49
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0